



FC TOREROS

NEWSLETTER

NO.4
2011年1月号

発行時期
毎月1回(最終土曜日)

【エフシートレーロス
ニュースレター】



(撮影) 2010年12月8日、善福寺公園テニスクラブにおけるフィリップ・トルシエ氏のセッション。

Monthly Report

●フィリップ・トルシエ氏(元日本代表監督)がやってきました!

12月8日(水)のU10/U12のトレーニングに、元日本代表監督のフィリップ・トルシエ氏がゲストコーチとしてやってきました。今回のトルシエ氏のセッションは、子ども達への少し早いクリスマスプレゼント。代表監督から直々に指導を受ける機会は感受性の強い子ども達にとって最高の機会となったでしょう。当日のトレーニングは「コミュニケーション」がテーマ。サッカーはひとりではできないスポーツ。いくら優れた選手であっても、仲間(チームメイト)の協力がなければ成り立たないものです。ドリブルをはじめ



たら止まらない…というのではなく、仲間を感じ、判断する能力が必要なのです。当たり前のこともかもしれません。しかし、トップレベルであってもそのようなサッカーの幹となる部分を大切にしているのです。逆に言うところのようなベースを持っていないと、世界基準の良い選手になることはできないでしょう。ミニゲーム中の談話で次のようなことを言っていました。「日本にはタレント性の溢れる選手が多いと思う。しかし、日本人選手は判断のレベルが低い。しかし、トレローロスの子供達は自分で判断しようとチャレンジしている。これは素晴らしいこと。しかし、もっと上のレベルを目指したいなら、試合中だけでなく、トレーニングからも判断に対する高い意識が必要」。そして、どうしたら良い判断ができるか?との質問に、「良い判断をするのは、指導者や保護者がそのような雰囲気を作ること。環境次第で自然と習慣化できるもの」とのことだった。トルシエ氏は誰もが認める世界基準の指導者。その指導者が拘る部分こそ、何も特別なものではなく、ごく当たり前のことを当たり前にするかという部分。小中学生は土台作りの時期。この時期にしっかりと土台を築くことこそ、いすべきことなのですね。

New Face!

●アマラオ氏のコーチングスタッフ就任が決定!

2011年1月下旬より、「キング・オブ・トーキョー」と、元FC東京のスター選手、アマラオ(ワグネル・ペレイラ・カルドーゾ)氏がトレローロスのコーチとして加わることが決まりました!!これまでプロ選手としてはもちろん、日本サッカー協会のアンバサダー、FC刈谷(JFL)の監督を務めるなど、多くの子ども達に夢を与えてきたアマラオ氏。トレローロスでも、子ども達にとっても大きな刺激となることは間違いないでしょう。アマラオ氏は、担当チームは持たない予定です。全カテゴリーに足を運ぶ予定です。また、トレローロス以外にもファンルーツアカデミーコーチングスタッフ、東京23フットボールクラブ監督も務める予定です。ニックネームは「アマコーチ」です。

★新体制は1/9の保護者会で発表します。



Toreros Voice

トレローロスが掲げる「フットボール+1」。これまで多くのゲストコーチを招聘しました。「なんでこんなにゲストを呼ぶんだろう?」と疑問を感じる人も多いかもしれません。しかし、私達が考えるサッカーの最大の魅力こそ「人の繋がり」なのです。子ども達を取り巻く社会が孤独を深めているように感じてしまうなか、サッカーは人間的な営みを思い起こすことができるひとつの貴重なツールです。私の好きなクラマー氏の言葉に「**サッカーは子どもを大人にし、大人を紳士にする**」というものがあります。まさにこの言葉には、サッカーを通した人間関係こそ人を育てるという意味が含まれているのです。サッカークラブとは、1つのファミリーです。子ども達、保護者、コーチの三位一体があって初めて成り立つもの。そのなかでも大切なのがコーチです。子ども達の可能性は未知なるものがあります。だからこそ、1人のコーチの目だけでなく、多くの目で子ども達を見守る必要があるのです。トレローロスのスタッフ、ゲストコーチは、皆、同じベクトルの下、子ども達に接しています。表現の仕方は異なるにしろ、ベクトルさえ共通していれば、子ども達が迷うことはありません。同じベクトルをもった大人(コーチや保護者)が集うクラブこそ、トレローロスの最大の魅力なのかもしれません。